

このコーナーでは、市の環境に関する取り組みや、
 ぐらしに役立つ情報を紹介します。
サステナ
 ○ Sustaina には、「持続可能な～」という意味を込めています。

茨城で 40.6 度、群馬で 41.8 度、 観測史上最高気温を更新

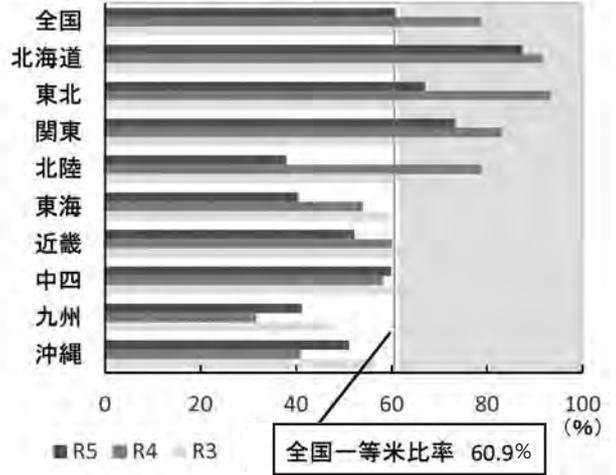
今年の夏は全国的に猛暑に見舞われ、茨城県内の最高気温を更新する 40.6 度（古河市）、国内の最高気温を更新する 41.8 度（群馬県伊勢崎市）が観測されました。

農林水産省の報告によると、地球温暖化により米の白未熟粒の発生などの影響が見られ、右図のとおり全国の一等米比率は減少傾向です。

地球温暖化防止には地球規模の取り組みが必要ですが、私たち一人ひとりにも、日常生活を通じてできることがあります。その一つが「地産地消」です。

地産地消は、食料自給率を高めることに加えて、地域経済の活性化にも大きく役立つ可能性があります。さらに、食品ロスを減らしていくことで、ごみ処理にかかるエネルギーの削減につながり、温室効果ガスの削減、つまり地球温暖化の防止にもつながります。

○ 水稲うるち玄米の1等比率
 （令和6年3月31日現在 農林水産省穀物課調べ）



環境寺子屋親子教室

「これからどうなる？日本の天気」を実施しました

市内の小学校および義務教育学校の児童とその保護者を対象に「環境寺子屋」を開催し、8月20日から22日の3日間で、計41名が参加しました。

講師には市内在住で気象予報士の岸 倫男きののりおさんをお迎えし、日本の天気に関するお話と、実験や工作を行いました。参加者は、ペットボトルを使った雲や竜巻作り、おはじきやビーズを使った色とりどりの保冷剤作りなどを通して、楽しく学びながら地球温暖化への理解を深めました。8月20日・21日には、高校生の就職支援の一つとして、インターン生も参加し、公務員として働く意義や社会貢献についてなど、多くのことを学びました。

今後も、一人ひとりが地球温暖化について学び、地域の自然や環境を守るために何ができるかを考え、積極的に行動するきっかけとなるよう、取り組みを進めていきます。



ゼロ・カーボン
 Kasama

問 環境政策課（内線125）